

全国学力学習状況調査(6年生)の結果について

4月19日に実施した調査について結果が国より送付されましたので、お知らせします。

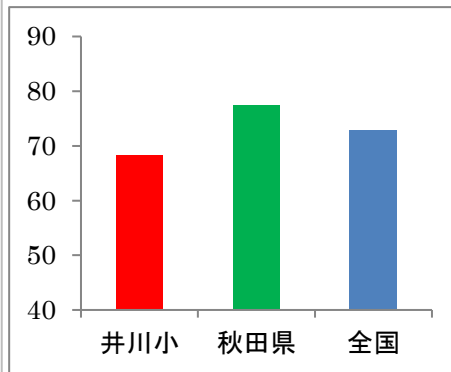
結果を受け、授業改善や子どもたちの生活指導に生かしてまいります。

□ 学力調査では、国語Bと算数が全国平均を大きく上回るとともに、県平均とほぼ同じで、どの分野においても全般的に良好な結果でした。ただ、国語Aでは、ローマ字で書くことと漢字を書くことに大きな課題がみられ、県と全国の平均を下回りました。3、4年生の基本的な学習事項についてもう一度見直しを図ってまいります。

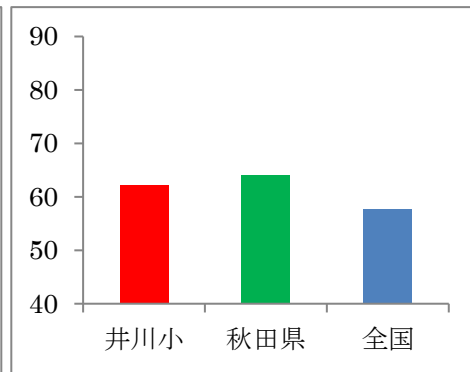
□ 学習状況調査では、学校への適応、自己有用感、地域行事への参加などで県平均を大きく上回るなど、概ね良好な結果となりました。一方、社会への関心などで課題もみられ、特に家庭学習の時間では県や全国に比べ時間が大幅に下回っており、今後その解決に向けて取り組みを行ってまいります。

学力調査結果

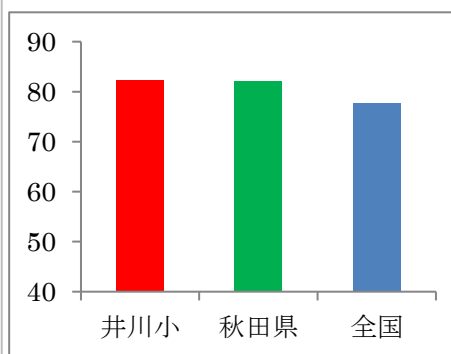
国語A (知識)



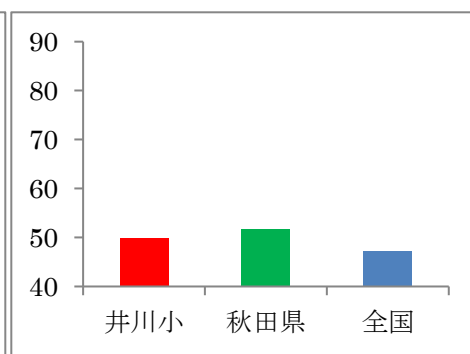
国語B (活用)



算数A (知識)



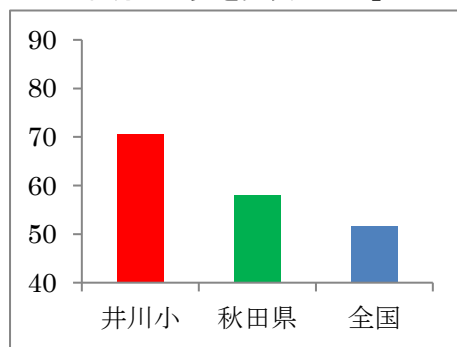
算数B (活用)



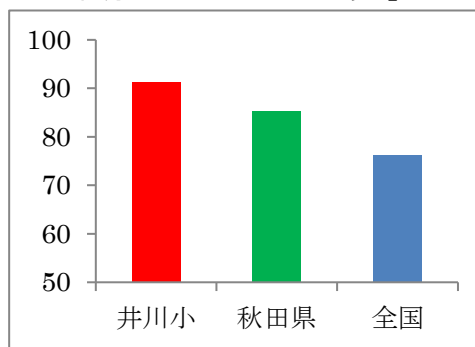
学習調査結果

○ 良好だった項目 (「そう思う」と回答した割合)

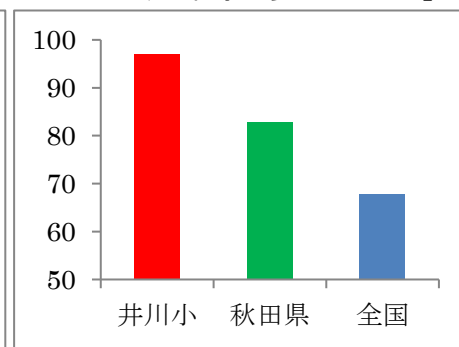
「自分の意見を発表できる」



「自分にはよいところがある」

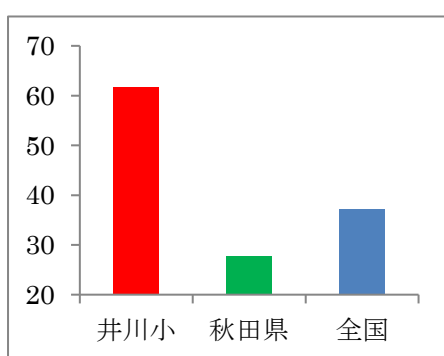


「地域の行事に参加している」

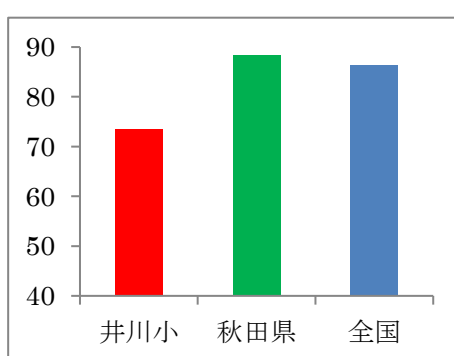


● 課題のある項目 (「そう思う」と回答した割合)

「家庭学習は1時間未満」



「テレビなどでニュースをよく見る」



「授業で文章を書くのが難しい」

